

会議等概要

件名	令和7年度第1回鹿児島市安心安全まちづくり推進会議	作成課	危機管理局 安心安全課
日時	令和7年5月28日（水）14時～14時50分		
場所	市役所東別館3階 災害対策本部室		
出席者	安心安全まちづくり推進会議委員 16人（柳田委員、森尾委員、高田委員、中村委員、舞田委員、吉井委員、上村委員、出雲委員、本房委員、森田委員、橋口委員、武田委員、末廣委員、水之浦委員、鶴田委員、黒木委員、うち市出席者3人）		
市出席者	委員：水之浦危機管理局長、鶴田教育部長、黒木消防局次長 事務局：上園危機管理局次長、中野安心安全課長、 山下安心安全まちづくりアドバイザー、他		
会次第	【議題】 (1) 令和6年度・7年度における本市の安心安全に関する施策・事業等について (2) 客引き行為等への効果的な対策について		
主な意見等	<p>（○：委員 ●：事務局）</p> <p>【議題(1) 令和6年度・7年度における本市の安心安全に関する施策・事業等について】</p> <p>○ 1月に山下小学校であった防災訓練で、市が提供したであろうトイレ等があったが、消防分団の人たちがトイレを設置したり、プールから水を引っ張るときに手伝いをできたら、有事に適切に対応できるのではないかという意見があった。</p> <p>● やはり実際に使い体験していただくことが一番大事だと考えているので、地域の自主防災組織、訓練に積極的に参加していただけると助かる。トイレの関係のご意見は所管の環境局に伝える。</p> <p>【議題(2) 客引き行為等への効果的な対策について】</p> <p>○ 行政や地域団体はすごく苦勞されているのが分かる一方で、市民の責務が薄いと感じており、持続可能なものにしていくためにどうしたらいいか考える必要がある。</p> <p>○ 市民の理解と周知が不十分、巡回・指導体制の限界、持続可能な取組の必要性の3つの課題がある。</p> <p>○ 客引き行為等をしづらくするため、ポスターや看板、チラシ等にQRコードを付けて、市民が客引き行為等で不快を感じたらすぐに情報提供できる環境を作ったかどうか。</p> <p>○ 繁華街の入り口に「客引き必要ありません」など書いたカードを配り、断り切れない市民などが持ち歩けるようにしてはどうか。</p> <p>○ 天文館連絡協議会では、年3回程度パレードやパトロールなどを行っているが、できれば2カ月に1回くらいはやっていきたいと思っている。</p> <p>○ 学生がアルバイトで客引きしている例もある。</p> <p>○ 指導員がいなくなると客引きが出てくる、いちごっこの現状がある。</p> <p>○ パトロールで一番効果的なのは地域に見せること。大切なのは声のかけ方であり、現実に即したロールプレイングが大事である。</p> <p>○ 客引き対策については、条例ができたことで1つの大きなスタートができた。地域にできること、行政にできること、それぞれのバランスをとって共有できる部分をつくり、一人一人が心掛けていくのが大事。</p> <p>● QRコードの提案など、いろいろと貴重な意見をいただいた。市民に条例を知ってもらうことが大事であり、周知がまだまだだと感じた。事業者はもちろん、市民、学生など、みんなに知ってもらい、どんどん理解をひろげていきたいと考えている。</p>		